



公益社団法人 岡山県診療放射線技師会

岡放技ニュース

2022. 7 No. 305
〒700-0867 岡山市北区岡町 16-10-201
TEL 086-235-1313 FAX 086-235-1515
MAIL: oart@oart.jp

Okayama Association of Radiological Technologists Since November 21th, 1951 URL: <http://www.oart.jp>

発行責任者 大野 誠一郎 編集者 編集委員会

お知らせ

診療放射線技師のためのフレッシュャーズセミナー 開催のお知らせ

教育委員長 木下 琢実

本年も下記の日程で、第144回岡放技セミナーとしてフレッシュャーズセミナーを開催する予定です。
申込方法等詳細につきましては今後掲載させていただきます。
ご確認いただきますよう宜しくお願い致します。

Web 開催 9月25日(日) 13時00分～17時10分

プログラム

- | | |
|-------------|--|
| 13:00～13:30 | 『 医療コミュニケーション 』
川崎医科大学附属病院 池長 弘幸 先生 |
| 13:30～14:00 | 『 医療人のエチケットマナー・電子メールのマナー 』
倉敷成人病センター 木下 琢実 先生 |
| 14:00～15:00 | 『 新人のための医療安全講座 』
倉敷成人病センター 木下 琢実 先生 |
| 15:10～16:10 | 『 感染対策講座 』
倉敷中央病院 福永 正明 先生 |
| 16:10～16:40 | 『 被ばく低減講座 』
倉敷中央病院 光井 英樹 先生 |
| 16:40～17:10 | 『 フレッシュャーズへのメッセージ 』
岡山大学病院 大野 誠一郎 先生 |

【重要】厚生労働省告示第273号研修(告示研修)開催のお知らせ

教育委員長 木下 琢実

平素は、本会の事業に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

令和3年7月9日医政発0709第7号「臨床検査技師等に関する法律施行令の一部を改正する政令等の交付について」が厚生労働省医政局長より発出され、診療放射線技師の業務範囲の見直しが行われたことに伴い、追加された行為に関して厚生労働省が指定する告示研修を本会で実施することになりました。岡山県での第3回、第4回の開催をお知らせします。

1. 開催日時： 2022年8月20日(土) 9:00～18:30 (第3回目)

2022年8月21日(日) 9:00～18:30 (第4回目)

(研修は1日で終了です。ご都合の良い日を受講下さい。)

2. 場 所： 倉敷成人病センター(新棟6F) (岡山県倉敷市白楽町250)

3. 参加費： 会員 10,000 円 非会員 20,000 円

4. 定 員： 48名/1日(計96名)

* 開催についての注意につきましては詳しくは JART から開催案内のメールが各自届きますのでご参照ください。

CSFRT2022 愛媛 JART 特別企画のご案内とアンケートご協力をお願い

2022年7月

CS9 実行委員 沼田美保 本田さだえ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

今年度 CS9 では CSFRT2022 愛媛 JART 特別企画とし、JART副会長の児玉先生を講師にお迎えし、業務拡大・タスクシフトなど一緒に考えていきたいと思っております。

JART 特別企画:「変化にそなえる」

講師 JART 副会長児玉直樹先生

研修会日程 : 2022年10月15(土)・16(日)

会 場 : 松山市総合コミュニティセンター

(※会場+後日オンデマンド配信予定)

また、この研修にそなえ現在進められている業務拡大における各施設の現状を把握したいとアンケートを作成いたしました。

統一講習会や告示研修の、各施設での受講状況を把握し、タスクシフト/シェアに対してどのような意見をおもちか、すでにタスクシフト/シェアに向けて動いているご施設様がれば、実際に起こりうるメリット・デメリット、問題点等をお聞かせいただけたらと思っております。

ご多忙中大変恐縮ではございますが、アンケート調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

別添のチラシの QR コードよりアクセスしていただき、**8月31日**までにご回答いただければ幸いです。

敬具

JART特別企画



第18回

中四国放射線医療技術フォーラム

CSFRT2022 未来をよむ The NE×T Future

変化に そなえる。

～タスクシェアに向けて～

タスクシフト/シェアなどに見られる、業務内容や環境の変化。
大きな時代の変化に柔軟に対応するために
今、私たちは何をすべきか。

診療放射線技師の未来のために、業務拡大の理解を深めよう。



日時：2022年10月15日(土)・16日(日)

会場：松山市 総合コミュニティセンター

講師：児玉 直樹先生(日本診療放射線技師会 副会長)

※右記のQRコードからアクセスし事前アンケートにご協力ください。(8月31日締め切り)

事前アンケート
こちら



報告

第142回 岡放技セミナー 開催報告

学術委員 吉富敬祐 (岡山大学病院)

令和4年6月12日(日)第142回岡放技セミナーにおいて教育講演およびLunch Free Seminarに対し2名の先生, 会員成果報告に対し7名の先生を招聘しました。

教育講演はウィスコンシン大学 放射線科 Scientist 玉田大輝 先生による『最新のMRI撮像・再構成手法』, Lunch Free Seminar はシーメンスヘルスケア株式会社 CT事業部 山根祐輝 先生による『Photon counting CTに関する最新情報』についての講演でした。

まず, 教育講演では Deep Learning の利用や, 開発中のシステムに関する情報, 定量MRI, 低磁場MRI などについて, 玉田先生の研究活動や知見などを交えてご教示いただきました。個人的な先入観ではありますが, 放射線診断領域におけるAI技術は診断の補助や画質の向上などに用いられるというイメージが強かったです。しかし, 最近ではこれらのみならず受付から検査に至るまでを含んだワークフローの効率化に用いられつつあり, 診療放射線技師の業務負担軽減や, 総検査時間の短縮につながる可能性について講演の中で触れられていました。また, 高磁場化が進むMRIで, ハードウェアなどの進歩, Deep learning の利用などにより, 低磁場のものが再注目されていることに驚かされました。低磁場化によるコストの低減, 利用施設・適応患者の拡大などの恩恵は大きく, さらに可搬型のMRIなどの開発が進んでおり, より身近で安全なMRIの発展を願うところです。

Lunch Free Seminar では最新のCTとなるNEOTOM Alphaについて, Photon counting detector CT(PCD-CT)の原理的な説明, 実際に撮影された画像, 医師によるコメントなどについて山根先生より紹介していただき, 進歩が停滞していると思われたCTの新たな可能性を示していただきました。元来の固体シンチレータを用いた検出器に代替し半導体(CdTe)を用いることで, 発光現象に伴う信号劣化やシンチレータ間隔壁による分解能の制限などの影響を取り除き, 高分解能・高感度・低被曝のCTを実現したとのことでありました。さらに, 従来のCTでもあったように2管球を搭載し時間分解能を高めることで高速スキャンを可能とし, 症例によっては心電図同期なしに心拍動の影響を抑えた画像を取得することができることも示されました。PCD-CTの注目すべき点は上記のみならず, K吸収端を利用したマテリアルイメージングなどが挙げられ, 診断に有用な新しい情報を付与することが可能であり, 今後のさらなる発展と普及が期待されると思います。

会員成果報告については以下に示す通りです。各研究会より選出していただいた先生方に大変貴重な報告をしていただきましたが, 長文となるため演題名の記載のみに留めさせていただきます。

① 『心筋ファントムを用いたSwiftscan SPECTの基礎的検討』

川崎医科大学附属病院 中央放射線部 七澤 千尋 先生

② 『Hybrid Neurosurgeryに求められるチームワーク: 当院における診療放射線技師としての経験』

岡山大学病院 医療技術部 放射線部門 氏福 亜矢子 先生

③ 『異なる撮影モードのデジタルブレストモシンスェンシスにおけるZ軸分解能の比較』

岡山大学病院 医療技術部 放射線部門 西岡 早紀 先生

- ④ 『前立腺 IMRT へのハイドロゲルスプレー留置術による前立腺移動の評価』
岡山大学病院 医療技術部 放射線部門 河合 佑太 先生
- ⑤ 『エンテログラフィー検査時の広範囲 DWI における
最適 iPAT Factor 数と Reference Lines 収集数の基礎検討』
岡山市立市民院 放射線技術科 近藤 恭正 先生
- ⑥ 『下肢静脈造影 CT における低管電圧撮影と CE Boost 画像の基礎的検討』
倉敷中央病院リバーサイド 放射線検査室 大島 美春 先生
- ⑦ 『胸部単純 X 線撮影における肩甲骨陰影除去と被検者の体型との関係性についての検討』
倉敷中央病院リバーサイド 放射線検査室 小田 咲希 先生



上段：セミナーの司会を務める黒住学術委員

下段：当日の会場の様子





お知らせ

サーベイメータ貸出について

施設線量測定委員長 土本 真也

岡山県診療放射線技師会では、漏洩線量の測定のため、会員施設を中心にサーベイメータの貸出をおこなっています。

貸出を希望される方は申込書をファックスかEメールで岡山県診療放射線技師会までご連絡下さい。

貸出申込書は岡山県診療放射線技師会のホームページにあります。

サーベイメータの引き渡しは本会事務室にて行ないます。

貸出使用料の請求は本会が使用者あてに後日行います。

サーベイメータ貸出規程

- 1 ALOKA 社製 電離箱式サーベイメータ 1台 (トランシーバー2台を含む)
(サーベイメータは年1回の校正をおこなっています)
- 2 貸出料金 1週間 30,000 円(税抜) 1回の貸出は1週間を限度とする
- 3 会員以外への利用は規程の倍額とする
- 4 本会の活動に有益と思われる場合は代表理事の承認を得て利用料を免除することができる
- 5 使用に関して、故障・水漏れ・落下により修理が必要となった場合、修理費の一部として10,000 円を支払い頂く

※その他、ご不明な点やご質問、ご要望などございましたら、お気軽にお問合せ下さい



エックス線室の漏洩線量測定事業

岡山県診療放射線技師会では、線量測定委員が各施設にお伺いしてエックス線室漏洩線量測定する事業を行っています。漏洩線量測定をご希望の方は、岡山県診療放射線技師会までご連絡お願いいたします。測定日時について調整させていただきます。

測定の流れ

1. 測定図面の作成

初回測定時に今までの線量測定結果とX線撮影室の平面図を担当者にお渡し下さい。
(2回目以降は必要ありません) 戴いた図面を元に漏洩線量測定図面を作成します。

2. 漏洩線量の測定

測定員2名以上を派遣し、漏洩線量測定を実施します

(X線装置の操作は病院様側でお願いします。

これをもって病院様の立会者とさせていただきます)

サーベイメータ、ファントム、トランシーバー等、必要な備品は当方で準備いたします。

3. 測定結果報告書の作成

後日、漏洩線量測定結果報告書をお届けします。法定規制値以下と認められた施設には撮影室入り口ドアに貼る、測定済証のステッカーもお送りします。

測定時間

1室約30分

測定料金

基本料金 20,000 円 + 1 装置・1 管球追加毎に 10,000 円 を加算させていただきます。

測定をご希望の施設がありましたら、岡山県診療放射線技師会まで、お気軽にご相談下さい。

お申し込み先

〒700-0867 岡山県岡山市北区岡町 16-10-201

(公社) 岡山県診療放射線技師会 施設線量測定委員会 宛

Tel 086-235-1313



お知らせ

「変更届」提出のお願い

勤務先・自宅住所など変更をされた方は、岡放技事務局まで「変更届」に変更内容を記入してお送りください。

「変更届」用紙はホームページのメニュー「入会・変更など」にあります。

日本診療放射線技師会 JART にもご入会の方は、JART のホームページよりログイン後、ご自身で登録情報の変更ができます。【推奨】

(ログインできない方は、岡放技への申請により JART の変更支援を致します。)

岡放技独自の会員台帳にて会費管理やニュースの発送など様々な処理をしておりますので、是非とも、お忘れなくお知らせください。よろしくお願ひ致します。

【送り先】

〒700-0867 岡山市北区岡町 16-10-201

岡山県診療放射線技師会 事務局

FAX : 086-235-1515

Mail : oart@oart.jp

《追伸》

過去に引越しをされて、住所変更を出されていない方もおられるようです。確認の為に送って頂くのも歓迎です。よろしくお願ひ致します。

令和4年度 (公社)岡山県診療放射線技師会 行事(活動)予定

7月					
8月	8月20・21日	土、日	告示研修	9:00~18:30	倉敷成人病センター
9月	9月16~18日	金~日	※ 第38回日本診療放射線技師学術大会	学会HP参照	神戸コンベンションセンター
	9月25日	日	第144回岡放技セミナー(フレッシュセミナー)	13:00~17:10	オンライン会議(予定)
10月	10月15, 16日	土、日	第18回中四国放射線医療技術フォーラム	学会HP参照	松山市総合コミュニティセンター
11月					
12月					
令和5年					
1月					
2月					
3月					
4月					
5月					
6月					

※ 日本診療放射線技師会(JART)主催



事務所開所時間：月・火・木・金 10:00~14:00 水 10:00~12:00